

Campus Today



松本歯科大学

発行所 学校法人 松本歯科大学
長野県塩尻市広丘郷原1780
☎ (0263) 52-3100
www.mdu.ac.jp
1部60円

東京歯科大学学長・井出吉信先生が講義

第2学年に对面型講義で

摂食・嚥下のメカニズムを解説

6月26日（木）、第2学年の第3時限・解剖学の授業において、東京歯科大学学長で本学客員教授の井出吉信先生が「摂食・嚥下に関連する解剖学」をテーマに講義を担当された。教室内を移動し学生に質問を投げかけながら進行していく「対面型講義」は、正しい理解を学生たちに植え付ける中身の濃い内容で、学生たちは真剣に聴き入っていた。

井出先生は長年、東京歯科大学で解剖学の教育に携わって来られ、教務部長を経て、2011年には学長に就任された。教育改革に努められ、同大学を歯科医師国家試験で今年も全国一位という合格率に導いた立役者でもある。



学生たちに質問を投げかけながら授業を進める井出先生

ことを学ぶ必要がある

のかも、分かりやすく説明があった。ヒトだけでなく他の哺乳動物ではどうなっているのか、咀嚼器官の共通点や相違点など幅広くかつ濃厚で興味深い内容であった。

講義を通じ井出先生は、学生に質問や疑問を投げかけ、問答しながら進める「対面型講義」を展開された。

教室内を移動しながら、多くの学生に対して「舌骨上筋群にはどのような筋が存在するか」「筋の位置関係はどうなっているのか」「筋の神経支配はどうなっているのか」というような質問を次々にされた。その質問に対し学生が答えを考えたり教科書やノートを調べたりする間、じっと（辛抱強く）待つておられる井出先生の



摂食・嚥下の解剖学を分かりやすく解説

姿勢が印象的であった。

答えが少し違っていても否定するのではなく、正しい答えへと誘導するような別の質問をされ、学生自身が間違いや勘違いに気づき、最終的に学生が正しく理解しているような配慮がなされた問答が展開される「対面型講義」であった。

また、部位や専門用語などを記憶する際には、構造や位置関係などを意識して覚えることにより効果的であることを学生たちに

アドバイスされ、重要な箇所は何度もリフレインされ、強調されていた。

講義を通じ本学学生の対応や発言に触れた井出先生からは、「松本歯科大学第2学年の学生は解剖学をよく勉強し、内容の理解もかなりできている」との言葉をいただいた。

受講した学生たちからは「井出先生の講義は情熱的で惹きつけられた」「楽しく興味深い内容で、理解度が増した」などの多くの感想が寄せられた。

この講義には学内から矢ヶ崎雅理理事長や長谷川博雅歯学部長、中村浩彰教務部長、平岡行博学生部長をはじめ多くの職員も参加し聴講させていただいた。今回の東京歯科大学学長の井出吉信先生による解剖学講義を参考に、さらに本学での教育の充実、質の向上を期待したい。

（口腔解剖学第1講座 教授 金銅英二）

お天気歳時記

元日本気象協会調査役
お天気コンサルタント



ありが
あし

今年の8月上旬は各地に大雨が降り、気象庁は「今まで経験したことのない大雨」として初めて「異常天候警戒情報」を発令し、「直ちに命を守る行動を」と付け加えた。1875（明治8）年気象庁開設以来初めての強い文面の情報だった。

この時、秋田市では一時間に109ミリという激しい雨が降り、半日で一カ月の降水量を観測した。下旬には島根県、北陸、関東へ大雨は広がった。また下旬には上空に強い寒気が入り、南アルプスで初氷がはり、下界の酷暑が和らぐとともに山は短い秋を経て早や冬へと向かうなど、気象変化の大きい8月だった。地球温暖化の影響で異常気象が多くなる気配である。

7日は立秋。「秋立つ」といっても足る（二茶）。立秋すぎの暑さは残暑と呼ぶが、暑さはこれからが本番で、東京の最高気温の記録も2007（平成19）年8月16日の40.9度だった。

しかし、月遅れのお盆を過ぎると時折り、朝夕にふと秋の風に触れることがある。季語の「夜の秋」は、このことをいいたものだろう。高原ではヤマハギが咲きはじめ、ススキも穂が朝夕の涼風にゆれる。セミの世界でもツクツク法師が鳴き出し、子どものころ夏休みの残り少なくなったことを知り憂うつになったことが思い出される。

空には、今までわがもの顔にふらまっていた入道雲に混じって、横にたなびく雲が浮かび、人々にしのびよる秋を知らせる。23日は暑さも「これまで」という「処暑」。北極圏タイミル半島では雪が降りはじめ、北半球の冬は着々と準備が進む。

第10代学長に

川原一祐先生が就任

7月24日に開かれた学校法人松本歯科大学第171回理事会において、第10代学長に川原一祐先生（常務理事、前・学監）が満場一致で推挙、承認され、同日付で就任した。



学長

川原 一祐

このたび第10代目の学長に選任されました。矢ヶ崎雅前学長が理事長職に専念するための移行交替であります。

松本歯科大学の「建学の理念」をしっかりと認識した大学運営と、大いなる発展に努めてまいります。教職員を含め関係各位ならびに在学生と卒業生の皆さまには、特段のご協力をお願い申し上げます。学生諸君には、真摯な態度の学習と、尊敬の精神をもった「問いかけ」を教授をはじめとする各教職員に遠慮なく提示して欲しく、また卒業生各位には、社会で立派に活躍をされる姿を「範」として後輩の学生諸君に示していただきます。

川原一祐先生 略歴

1962年	3月	信州大学文学部 自然科学科生物課程動物学専攻卒業
70年	7月	医学博士号取得（信州大学）
78年	1月	信州大学医学部助教授（第1病理学教室）
	4月	松本歯科大学教授（生物学）
2002年	4月	松本歯科大学名誉教授 松本歯科大学特任教授
05年	5月	学校法人松本歯科大学理事 学校法人松本歯科大学常務理事
06年	4月	松本歯科大学学監

主張
「健康長寿」世界一を目指して

先日長野新幹線に乗りして、車内誌「トランヴェール」7月号を手にとったら、「長寿日本一の信州力」が特集されていた。長野県は1995年の都道府県別生命表(いわゆる「長寿番付」)で男性長寿日本一に躍り出て以来、ずっとその座を占め続けている。2012年には女性も第1位となったから、文字どおりの「長寿県」なのだ。



以前には、沖縄県が永らく長寿日本一を誇っていた、気候が温暖で海産物も豊富なこの地の住民が長生きなのは当然だと、だれも不思議には思わなかったが、長野が首位になったときには「なんかの間違いでは？」と、首を傾げた者が多かった。

「ブエンと呼ばれて珍重された」は減多に口にできなくなった。主な副食は塩の利いた漬物ぐらいで、たんばく質の摂取量から見れば、著しく貧しい食生活だったと言わざるを得ない。

寒冷な山国には、長寿に不利な条件があまりにも多いからだ。積雪地帯では運動量も極端に少なく、がちとなる。栄養面でも偏りが出やすい。青森、秋田、岩手などの各県が、長寿番付の最下位付近に顔を揃えていることから明らかであろう。

しかも長野には海がない。冷蔵技術が普及する前には、海産物の魚介類、とくに生もの(無塩ふだん働いている人の割合)が、男女ともに全国1位であることが注目される。つまり、信州人は年を取っても「生涯現役」で働き続けていることが多いのだ。

プロの農家はもとより、サラリーマンでも定年後にパートの農作業や家庭菜園などからだと動かしやすい環境が、健康長寿につながっているのだろう。人口10万人あたりの博物館数

が全国1位、体育館やプールなどの社会体育施設数も全国1位、公民館と図書館数は全国2位、といった文化・スポーツ面の充実も目を引く。地域の人々の交流が活発に行われていることも、高齢者の「生き甲斐」に寄与しているのには違いない。

医療については、長野県の高齢者の医療費は全国最低のレベルにある。75歳以上の高齢者の受療率も全国平均よりも著しく低い。長寿が医学的な「治療」、たとえば、高度医療による延命などの効果によるものでないことは確かだ。

しかしその一方で、人口10万人あたりの保健師数は堂々の全国1位。これは長野県では地域における保健予防活動や在宅医療がきわめて活発なことを示している。ちなみに、安曇野市穂高には、全国唯一の保健師像が建てられている。

戦後まもなくから、佐久病院の農村医療の展開などによって始められた生活改善運動の伝統がしっかりと根付いていることが、大きな力となっているのだ。(笠原 浩)

具体例としては、昭和30〜40年代には全国でも上位にあった脳卒中の死亡率を、その後の取り組みで激減させた事実がある。食生活や住環境の改善の如実な効果だと考えられる。減塩運動の推進にもかかわらず、長野県の食塩摂取量はいまだに全国1位であるが、野菜の摂取量が日本一ということが、それをカバーしていると考えられる。

筆者が長野県医療審議会委員として策定に尽力した「信州保健医療総合計画」が、昨年春に完成して公刊されている。タイトルに「健康長寿」世界一を目指して」と掲げられている。

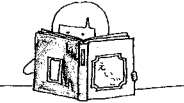
単なる長生きではなく、「健康で長生き」へと生活の質を高めていくために、歯科保健医療にもさまざまな課題が与えられている。信州モデルを世界に向かって発信していけるよう、われわれにも保健医療に携わる者としての自覚をさらに深める必要があるようだ。(笠原 浩)

県内外より216人が参加
豊富なプログラムで活発に意見交換
第29回甲北信越矯正歯科学会大会



須田先生(右)と杠先生(左)による特別講演

カールソンの
英語 !!!



この間たまたま前を走っていたバスの後部に「スマホアプリ」と、何かの宣伝文句が書いてありました。そのとき思ったのですが、もし10年前だったら果たしてこの広告を見た人は意味が分かったのでしょうか？

同じように、英語にも時代の流れに従って新語が次々に誕生していきます。例えば、localvore(ロカヴォア)。この言葉は10年前には存在していませんでしたが、現在はかなり頻繁に使われます。Local(地元)と、接尾辞の-vore(ガツガツ食べる)が結合してできたもので、「地元で取れた食物を食べる人」という意味です。

ニューヨークに住んでいる私の知人も最近 localvore になったようで、CSA (community supported agriculture = 地域に支えられた農業)に属しています。日本でも生産者から消費者へ地場の生産物を直接提供する仕組みがあると思いますが、アメリカの都市部では最近急速に拡大してきています。先日も

地元の野菜 (mbuna・玉生菜、chicory・チコリー、garlic scapes・にんにくの芽、kale・ケール、coriander・コリアンダー、cilantro・ルバーブ、pashu・ラディッシュ)などを買い手ができて嬉しいと思っていました。

ところで新語と言え、最近 hangry という言葉を耳にするようになりました。これは hungry (おなかすいた)と angry (怒っている)が結合してできた新しい単語ですが、「おなかすきすぎてイライラしている」という意味です。

中村美どり准教授が優秀演題賞を受賞

第1回日本骨免疫会議

第1回日本骨免疫会議が7月4日(金)と5日(土)に、東京大学大学院医学系研究科免疫学教授の高柳 広会長の下、沖縄県名護市万国津梁館において開催された。

今回初めて開催された本会議は、第35回日本炎症・再生医学会との同時開催で行われたが、ギリシャで開催されているオステオーム・ロジー会議の日本版として創設された。

本学からは、シンポジストとして高橋直之教授(大学院歯学独立研究科長)が「破骨細胞はどのようにして骨組織に形成されるか」について講演し、骨組織にのみ出現する破骨細胞分化の神秘性について詳細な実験結果をもとに分かりやすく説明し、大変好評を博した。

その他、小林泰浩准教授、中村美どり准教授、中道裕子講師、張以鳴大学院生(第3学年)らのポスター発表が行われた。90分にわたる討論をもとに採点

が行われ、見事に中村美どり准教授の演題『破骨細胞分化抑制作用とヒト破骨細胞分化促進作用』が優秀演題賞を受賞した。



高柳大会長の祝福を受ける中村准教授(左)

第51回日本骨軟部腫瘍研究会は、本学口腔病理学講座が主管、長谷川博雅歯学部長が大会長を務め、6月21日(土)に図書館学生ホールで開催された。

本研究会は1987年に牛込新一郎先生(元東京慈恵会医科大学)、町並陸生先生(元東京大学)、今村哲夫先生(帝京平成大学)、恒吉正澄先生(元九州大学)らが中心となって発足

した学術集会で、骨軟部腫瘍について関心を持つ病理医、整形外科医、放射線科医が、難解例あるいは稀有な例を持ち寄って行う合同カンファレンスである。第51回目となる今回は初めて歯学部で開催されることとなり、北は北海道から南は九州まで、わが国の骨軟部腫瘍病理の第一線で活躍する病理医を中心とする総計50人以上の参加者が、熱い討論を展開した。

現在、高度先進的治療のためのきめ細かな質の高い病理診断が求められているが、本研究会においても形態学的な病理診断に分子生物学的手法を加えて、的確な診断と適切な治療へと導くための議論が行われている。本学からは大学院硬組織疾患制御再建学部門の嶋田勝光院生(第3学年)が極めて稀な部位に発生した巨細胞病変の1症例を提示した。

参加者からは今回検討された症例は何れも難しく、ハイレベルな討論ができたこと評価をいただいた。次回、札幌での再開を約束し閉会となった。

口腔病理学講座 准教授 中野敬介

参加者からは今回検討された症例は何れも難しく、ハイレベルな討論ができたこと評価をいただいた。次回、札幌での再開を約束し閉会となった。

参加者からは今回検討された症例は何れも難しく、ハイレベルな討論ができたこと評価をいただいた。次回、札幌での再開を約束し閉会となった。



長谷川歯学部長(前列右から3人目)と研究会に参加された皆さん

第25回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会 スポーツマウスガードについて本学から多数発表 鍵谷院生は優秀学術論文奨励賞を受賞



左から谷内講師、笹山院生、鷹股教授、鍵谷院生、笠原助教、大井助手

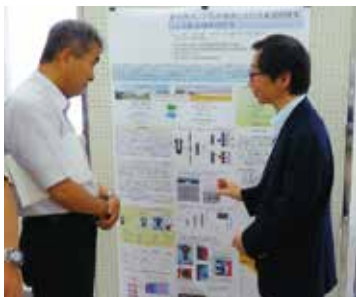
第25回日本スポーツ歯科医学会総会・学術大会が6月28日(土)、29日(日)に大阪千里ライフサイエンスセンターで開催され、本学からは3D IJP(インクジェットプリンター)やシリコーンラバーを用いたスポーツマウスガード製作の可能性を探る多数の研究発表が発表された。

一般口演では、歯科補綴学講座の笠原圭男助教が「3D IJPによるスポーツマウスガード(MG)製作の可能性」について発表した。咬合採得で得られた模型の3Dスキャン画像データをもとに、アクリル化合物のゴムライク樹脂を使用して3D IJPでMG製作を試みた結果、技術的に可能であることを報告し、課題としては3D IJPで利用できる軟性素材の生体適合性の確立を挙げた。デジタルものづくりが将来的にスポーツ歯科の分野にも応用されることが期待される発表であった。またポスター発表では、大学院顎口腔機能制御学講座の鍵谷真吾院生(第3学年・歯科補綴学講座助手)が「スポーツマウスガードの適合試験に関する一

方法」と題して発表。MGの維持・安定には適合性が重要だが、これまで詳細な測定報告がない。鍵谷院生は、咬合器とサポートテーブルを用い、適合試験材フィットチェックカーが模型に残る量を重量測定装置で測定する方法を解説した。さらに、スポーツ歯科・鷹股哲也教授をはじめ、入門歯科医学・谷内秀寿講師、大学院同講座・笹山智加院生(第3学年)、歯科補綴学講座大井俊昌助手の4人はシリコーンラバー応用スポーツマウスガードの基礎的研究」をテーマにそれぞれ発表した。

笹山院生は、液状シリコーン材に充填剤として結晶石英フィラーを配合することで練和物の粘性、引裂強度、硬さが増し、ミキシングカートリッジが使用可能になり、練和時の気泡混入を極力防止できると報告。大井助手は、結晶石英フィラーの配合率を高くすると練和物の粘調性が高くなることを発表した。

液状シリコーンラバー材は加硫硬化時間が長いのが欠点の一つだが、鷹股教授は物性試験を行い、石膏陰型に液状シリコーンを填入埋没後、電子レンジにて500W15分で加熱加硫した結果、時間短縮が得られ、引裂強度が増したことを明らかにした。谷内講師は引裂強度の脆弱性によってMGが引きちぎれた場合、その修理・補修は電子レンジの使用により短時間で済ませること、織物の端切れなどを利用した斬新なデザインへの応用も可能であることを示した。



ポスター前で説明する八上准教授(右)

産学官連携事業の成果を発表

第12回産学連携学会

第12回産学連携学会が6月25日(水)から27日(金)にかけて、下諏訪総合文化センターで開催された。同学会は、産学連携に従事する人、支える人、関心のある人などが全国から集まり広く交流し、相互に啓発し合う場として年に1回開催されている。

増田室長は、2012年度に本学において開いた「病院ニーズ産業化研修会」の概要と成果について紹介した。ワークショップ形式で行われたこの研修会では、大学と企業や企業同士の関係が密になったこと、連携につながりやすい環境づくりができたことなどの成果を説明した。八上副室長は「歯科用インプラント開発における基礎的研究による製品価値の付与」と題して、産学連携の具体的な事例を発表した。株式会社ヨシオカの要請を受けて行った細胞レベルの基礎研究の成果が歯科用インプラント製品の価値の向上につながったことを解説した。

発表後はそれぞれのポスターの前で活発に意見交換がなされ、産学連携に対する期待・関心の高さが伺えた。

(産学官連携推進室 早川大輔)

未来の歯科医学生をめざして大学を体験

一日体験入学開催

一日体験入学は第1回目の5月25日(日)を皮切りに、7月6日(日)、13日(日)、20日(日)、26日(土)と毎週連続で開催され、県内をはじめ全国各地から大勢が参加した。教授による大学紹介やキャンパスツアー・学食体験・模擬実習・進学相談など盛りだくさんの企画を用意し、参加者に本学に対する理解を深めていただいた。今年

迎の挨拶と本学の紹介を行った。6年間の教育内容やウィークリーテストなど本学の教育システムの特徴を分かりやすく説明し、「歯科医師になろうという目的のある勉強は楽しいものです。自発的な学習をしましょう。20年後の超高齢化を支えるのは皆さんです」と締めくくった。

午後は、実習館101実習室で模擬実習が行われ、歯科補綴学講座のスタッフの指導で、プラスチックの詰め物をする一連の間の行事と学生から見た本学の特徴を説明し、参加者は熱心に聞き入っていた。次いでキャンパスツアーに移り、バスで大学を一周した後、在学生がガイド役を務め、講義館、キャンパスイン、病院などの各施設を参加者に見学していただいた。

最後に進学相談が行われ、3

若手研究者の発表に対し活発な討論

第78回松本歯科大学学会(総会)

第78回松本歯科大学学会(総会)が7月12日(土)に講義館201教室で開催された。

一般演題は、ノックアウトマウスを用いてアディポネクチンと骨密度の関係を調べた基礎研究の発表が始まり、リンパ上皮性病変を欠く辺縁帯リンパ腫に関する臨床報告、抜歯後にオートガイ神経麻痺と神経障害性疼痛を併発した症例報告、そして最後は口唇閉鎖力を鍛えた時の唾液分泌量の変化、と内容は多岐



ムルタザ サリム院生による発表

広陵中学3年生が本学を取材 「総合的な学習」授業の一環 地域のガイドブックを作成



岡藤教授に取材する広陵中学生

7月10日(木)、塩尻市立広陵中学校3年生・岩崎有沙さんと菊池未来さんが本学を取材に訪れた。同校の「総合的な学習」の授業の一環で、地域の公共施設などを訪問し、一冊のガイドブックを作成するのが目的。

取材を終えた2人は、「病院には治療で何度か来たことはあったが、普段入ることができない大学の各所を見学でき、また、いろいろな専門の診療科を取材できて良かった」「実際に学生の皆さんの講義や実習を見ることで、勉強になりました」などと感想を述べていた。

最初に2人は講義館を訪れ、第4学年の歯周病学の講義を取った。実習館では第1学年の入門歯科医学実習を見学して、学生が真剣に義歯を削っている様子を写真に撮っていた。

次に、総合診療室・岡藤範正教授の案内により、大学病院の

特別講演には、九州大学大学院歯学研究科口腔常態制御学講座の二ノ宮裕三教授による「味覚と健康」の講演が予定されていたが、南木曾地域に降った大雨による土石流のためJRが全面運休となり来学していただくことができず今回の学会に延期となった。

そのため4演題のみではあったが、将来を担う若い先生方の良い発表の機会であり、他分野の先生方を含めた白熱した活発な討論が行われた本学会は有意義なものであった。

(社会歯科学講座 准教授 富田美穂子)

Alumni News

松本歯科大学校友会

香川県支部

笠原 浩名誉教授を招き学術講演会 「Special Needs Patientの診療のキモ」



講演する笠原名誉教授

香川県歯科医師会館において6月14日(土)、「香川県支部学術講演会」が開催されました。



記念撮影に収まる香川県支部会員

今回の講師は、笠原 浩名誉教授(衛生学院院长・歯学部特任教授)にお越しいただき、長年先生の診療の肝ともいえるSpecial Needs Patientに対する対応について「Special Needs Patientの診療のキモ」むずかしい患者さんに第一線ではどこまで対応するべきか?と題してご教授いただきました。

(香川県支部 21期生 西村健司)

笠原先生の優しい口調は心地よく懐かし、スライドには懐かしい方が登場したり学生時代の思い出にひたることができました。

小児歯科から始まった先生ですが、障害者歯科学講座を立ち上げられた背景には、新しいことをしようとしたのではなく、目の前の患者さんに必要なことをしてきた結果が新しい講座になり、障害者・有病者にとどまらずすべての患者さんに対応できうるシステムを構築されたのだと感じました。

私たち歯科医師の特性として、どうしても「歯」に目を奪われがちですが、「人」を見落とさないことが重要であり、患者さんに寄り添う姿勢が大切だと感じました。歯科医師であるかぎり私自身もそうありたいと思います。を新たにしました。

前橋市開業の大竹克也先生が学術講演 「失敗しない口腔外科」

卒業31年の6期会を開催

6期生が卒業31年の会を7月12日(土)、東京都の私学会館アルカディア市ヶ谷を会場に、全国から30人の同期生が参集し開催しました。

開会に先立ち、これまで鬼籍に入られた8人の同期生の遺影を前に黙祷を捧げました。

6期会では同期生の活躍を紹介すべく、講演会を開催しています。

今回は群馬県前橋市で口腔外科を開業されている6期生の星、大竹克也先生を講師にお願いし、「失敗しない口腔外科」と題し講演していただきました。

大竹先生は卒業以来口腔外科の研究、研鑽を積み、群馬大学医学部口腔外科助教授まで務められました。その豊富な経験から、現在も白血病や心不全など



講演する大竹先生

続いての懇親会は、最遠方からの参加であった岡山県の三宅二郎先生の乾杯の発声で始まり、大学に勤務されている恩師の先生方からのビデオレターを上映したり、クラスごとに出席者の近況報告、また欠席者からのメッセージも卒業当時の写真とともに上映しました。なかには卒業以来、初めて顔を合わせる者もあり、いつの間にか30年前の青春時代に戻って大いに懇



全国から集合した6期の先生方

すぐに役立つものでした。

親を深め、楽しみました。

6期会はワールドカップの年、すなわち4年ごとに開催しています。今回は多くの6期生が還暦を迎える年に開催予定であり、それに合わせ写真集を作成することも提案され、再会を約束し、お開きとなりました。

今回は同級生の良さを改めて実感しました。

(6期生 山田和昭)

臨床研修の資質向上と指導体制の確保を 第15回病院指導医講習会を実施



県歯科医師会・笠原先生によるオープニングセッション

て説明の後、臨床研修のコミュニケーションならびに臨床技能をテーマとして3つのグループで検討が行われた。

二日目は、プログラムI責任者の音琴淳一教授より、本格運用から10年近く経過した現在の臨床研修システムの現況について講演があり、さらに研修評価についての説明の後、グループワークが行われ、一日目より活発な討議が進められた。

最後に高木宣雄病院長の「臨床研修指導歯科医としてのしつかりと後輩を指導していただきたい」という挨拶があり、参加者に修了証が授与された。

12部門に参加し 熱き戦い始まる 第46回全日本歯科学生総合体育大会

第46回全日本歯科学生総合体育大会

第46回全日本歯科学生総合体育大会夏期部門日程 (本学が出席する部門のみ掲載)											会 場 名
部 門 名	月 日	7/31(水)	8/1(木)	2(金)	3(土)	4(日)	5(月)	6(火)	7(水)	8(木)	
硬式野球 (日本歯科大学新潟生命歯学部)		●	●			●	●	●	▲	▲	五泉市宮野球場・城山運動公園野球場・新発田市五十公野公園野球場
準硬式野球 (長崎大学)					●	●	●	●	●	▲	長崎県宮球場・長崎市総合運動公園かきどまり野球場・三菱重工業長崎造船所スポーツセンター野球場・長崎商業高校
硬式庭球 (日本歯科大学新潟生命歯学部)					▲	●	●	●	●	▲	千葉県白子町テニスコート
サッカー (日本歯科大学新潟生命歯学部)						▲	●	●	●	●	太夫浜運動公園球技場・グランセナ新潟サッカースタジアム・新発田市カルチャーセンター・新潟聖徳スポーツセンターアルビレッジ
ゴルフ (北海道医療大学)						▲	●	●			恵庭カントリー倶楽部
バドミントン (愛知学院大学)							●	●	●	●	スカイホール豊田
バスケットボール (日本歯科大学新潟生命歯学部)			●	●	●	●	●				亀田総合体育館・新潟市秋葉区総合体育館・栄体育館・下田体育館
剣 道 (大阪歯科大学)			▲	●	●						守口市民体育館
弓 道 (新潟大学)							●	●	●		鳥屋野総合体育館武道館弓道場
日本拳法 (大阪歯科大学)				●	●						ボディメーカーコロシウム
陸上競技 (広島大学)									▲	●	広島県総合グランドメインスタジアム
水 泳 (長崎大学)									▲	●	鹿児島市新鴨池公園水泳プール

(開会式: 8月1日(金)、閉会式: 8月12日(火)) ●: 試合日、▲: 練習日・予備日等



グループワークの様子

人事異動

〔退職〕 6月30日付

内山 勝義 (事務局課長兼、契約職員)

吳 香恵 (看護部学芸員、契約職員)

早崎 みほ (看護部学芸員、契約職員)

河瀬 雄治 (学芸部学芸員、契約職員)

〔採用〕 7月1日付

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

宮澤 由記 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)

塩畑 陽子 (事務局課長補佐、契約職員)



夏期大会に臨む出場選手ら

Economic News

内外の経済 7月30日付

▶ 株価
日本 15,628.93円
米国 16,912.11ドル
▶ 金地金店頭価格 (消費税込み)
売り (1グラム) 4,651円
買い (1グラム) 4,566円
▶ 白金店頭価格 (消費税込み)
売り (1グラム) 5,316円
買い (1グラム) 5,188円

東京外国為替相場と各定期預金金利 (3ヵ月物)
米ドル 102.95円 0.01%
英ポンド 174.05円 0.10%
スイスフラン 113.60円 0.01%
ユーロ 137.85円 0.01%
タイバツ 3.29円 0.10%
日本円 — 0.01%
(シティバンク調べ)

30日(土) 一日体験入学 (衛生学院)

28日(木) AO入試・編入学試験 (台湾)

24日(日) AO入試・編入学試験 (台湾)

23日(土) 24日(日) 一日体験入学 (歯学部)

20日(水) 後期授業開始 (第4学年)

18日(月) 後期授業開始 (第5学年)

2日(土) 2日(日) 一日体験入学 (歯学部)

2日(土) 3日(日) 一日体験入学 (歯学部)

1日(金) 17日(日) 夏季休業 (大学院)

1日(金) 12日(火) 第46回全日本歯科学生総合体育大会 夏期部門

8月行事予定

8月1日付

高山 晴人 (事務局課長補佐、契約職員)

中西裕美香 (臨床検査技師、契約職員)

〔兼務〕 7月1日付

七倉 亮 (事務局経理課長)

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

8月1日付

受験生の皆さんへ

見せてほしい 君の個性 君の情熱

一日体験入学

① 8月 2日(土) ② 8月 3日(日)
③ 8月23日(土) ④ 8月24日(日)

※8月開催分のみ掲載

開催時間 9:45~15:00 (受付 9:15~)

●キャンパスツアー ●ランチ体験
●模擬実習 ●入試説明・進学相談 など

※参加希望の方は、本学ホームページから申し込み、専用申し込みハガキを下記までご請求ください。

■お問い合わせ■

HOT LINE 0263-54-3210
松本歯科大学 入試広報室
www.mdu.ac.jp